

図書館だより

☆三水会センター図書館☆ スタッフお薦め本

1 大判美術全集

出版業界が華やかな時期に出版された

2 ストロベリーロード

上、下、続編 石川好 著 (文春文庫)

図書館のどこの
写真かな～？
探してみよう！



重い故に借りられる事無く眠ったままの状態です。

各画家の作品、製作風景、人物像が丁寧に記され、これを元に角度を変えて観ると作品に対する意識が随分変わるものだと実感。時間に余裕のある方、じっくりとこれらのお宝をご覧ください。



美術館前週は雑誌の棚の横の下段にあります。



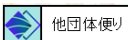
1965年、兄を頼りに移民船で渡米した18歳の若者にいきなり「ユーは、よく来たじゃないの」とおかしな言葉で出迎えた兄に案内された苺畑の中の粗末な一軒家、この日からスタートする日本人移民、メキシコ人密入国者、移民官との関わりの中で、人々の姿に目を向けた大宅壮一ノンフィクション賞受賞作。

時代は古くても、私達が今現在在米中だからこそ共感出来る箇所も多く、楽しめます。

図書館には色々な本があるよ。
お気に入りをみつけてね！



(図書館土曜スタッフ 竹中富貴子)



ヒューストン日米協会



JAPAN AMERICA SOCIETY OF HOUSTON

JASH BASH 2024 報告記事

Photo credit: [night.sky.creative](#)



ヒューストン日米協会 (JASH) は、11月19日 (火) にファンダレイジングイベント「JASH BASH 2024」を、Bayou Music Centerにて開催し、長沼総領事をはじめ、JASHをご支援くださる企業、団体、個人の約180名の方々にご臨席賜りました。今年のテーマは、日本の社会や文化が西洋の影響を受け発展し、また日本文化も西洋に紹介され、その文化に影響を与えた明治時代。同時代に日本に伝わったバレエで、現在ヒューストンバレエプリンシパルダンサーとして活躍されている加治屋百合子氏に第7回ジェー・トーマス・シーファー・リーダーシップ賞が、今年の夏にヒューストン美術館で開催された「Meiji Modern: Fifty Years of New Japan」展に尽力した同美術館 Ting Tsuang Wei Fong Chao Curator of Asian Art のブラトリー・ベイレイ博士に第7回ヒューストン-日本友好賞が授与されました。今回は特別に、加治屋百合子氏とコナー・ウォルシュ氏によるバレエパフォーマンスや、両受賞者による「文化の懸け橋」と題した対談も行われ、芸術がアメリカと日本の絆を深める上で果たす重要な役割を称え、文化・芸術の交流を通じて両国の絆を強化したことに感謝を表すにふさわしい会となりました。



左から：斉藤氏 (信越化学工業社長)、加治屋氏、ベイレイ氏、ティングリーフ氏 (JASH理事)、マヤ・シェイ氏



ドーランJASH会長と長沼総領事



参加者の方々の様子

また、サイレントオークションでは日本往復航空券、ホテル宿泊券、空気清浄機、兜飾り、着物、各種レストランギフト券、お米、日本酒や日本産ウイスキー等、多くの企業や店舗、個人の方々からご提供いただいた多彩な商品が並び、参加者の方々には日本酒や日本のビールを片手にオークションを楽しんでおられました。当日の様子は、当協会 [ウェブサイト](#) をご覧ください。

今回もヒューストン日本商工会会員の方々を含む多くの皆様のご支援とご協力、そしてご臨席を賜りましたことを心より御礼申し上げます。JASHは今後もヒューストン日本商工会との連携を密にし、ヒューストン地区における日米の文化、教育、ビジネス交流に一層貢献できるよう活動を続けて参ります。引き続きご支援とご協力を何卒よろしくお願い申し上げます。

